

補助 133号線に反対する会 11名が参加して都議会要請を行いました。

杉並区選出の原田あきら都議が都庁側と折衝してくださり、実現しました。

◆ 10時～ 都議会各会派に要望書を届ける

杉並区選出議員 6名、都市整備委員会の議員 12名、環境建設委員会の議員 13名、合計 31名宛ての要望書を渡していただくよう各会派を回る。〈自民党、立憲民主党、都ファースト、公明党、日本共産党、無（維新）、無（グリーン）、ミライ会議、無（自由を守る会）、無（ネット）〉

◆ 11時～11時45分 懇談会

都市整備局（課長ほか1名）、建設局（課長ほか3名）計6名の方が出席し懇談会を実施
要望書を読み上げて都市整備局課長にお渡ししました。

- ・原田都議 今日提出の要望書は知事、局長に届けてもらえますね
- ・都市整備局課長 要望書をどう扱うか・・・知事、局長に届けるかはこれから相談させていただく
※都側は渡すかどうかは考えさせていただくと繰り返し発言。それはおかしい。要望書を知事に渡すのは都民の権利で拒否はまずいと双方平行線が続きました。
※原田都議情報…後日、都側から都知事、都市整備局長、建設局長に渡しますと連絡がありました。
- ・原田 用地測量（道路計画線の両側からそれぞれ40mほどの家屋まで測量）は何%くらい進んでいるのか。
- ・建設局 現況測量（道路等の境界を測量し計画地の面積などを求める）はほぼ終わっている。
用地測量で境界の確定は3割弱くらいが終了している（40m先の家まで測量しているので沿道家屋が測量に応じたわけではない）。
- ・原田 用地買収が済んだ場所はあるか。
- ・建設局 133号線については先行買収しているところはない。相談事には見えている方もいる。
- ・原田 用地測量にこれだけ時間がかかっているのは進んでないということ。用地買収の割合で事業化しているのか。
- ・建設局 測量何割で事業化はしていない。測量説明会のあと、概ね2年ぐらいで事業化するのが一般的。
- ・原田 事業化の際は区の同意は必要か。
- ・建設局 制度としては特にない。区道との関係もあるので区とは連絡は取っていく。地形的に高低差があって検討している。←白幡公園付近の高低差のこと。切土か盛り土かで考えているということ。
- ・建設局 杉並区は区長が変わって昨年、今後の都市計画マスタープランが改訂された。その中では133号線について防災機能の強化や環境負荷などについて効果の検証をしてとなっている。今後も区とは調整していく。
- ・原田 つまり効果の検証が必要と区長はいつている。5次計画の策定検討会議は必ずやりますね
- ・建設局 何らかの会議は聞く。
- ・原田 テクニカル面で住民に説明できていないのに進めると言っているのは当然納得できない。しっかりと知事、局長に届けていただきたい。

◆ 住民からの発言

- ・本当に道路が必要であれば反対はしない。でも今、家をなぎ倒して造る道路計画には納得できない。70年前に決まったことでも、時代の流れに合わせて変わっていくものだ。何故70年前の計画に固執するのか。納得できないから協力できない。
- ・成田東に親の代から住んでいて、買い物、病院など恵まれた環境。アパート分が通路にかかり、生活がかかっているので必死。体力的にも精神的にも非常にきつい。
- ・車の通行量でも困っていない。我が家は100%取られる。死ねというのか。道路拡幅ならまだ理屈は通る。